

## 令和 5・6 年度複合構造委員会 第 7 回幹事会 議事録

日 時：2024(令和 6)年 5 月 23 日(木) 14:00～18:00

場 所：土木学会 B 会議室 Web 併用 (Zoom)

出席者：牧委員長，大山副委員長，皆田幹事長，大久保幹事，川端幹事，北根幹事，齋藤幹事，櫻庭幹事，塩畑幹事，平幹事，内藤幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，藤林幹事，山本幹事，岡崎事務局（取消線は欠席）

今川先生

配布資料：

- 幹7-0 令和5・6年度複合構造委員会第7回幹事会議事次第
- 幹7-1 令和5・6年度複合構造委員会第6回幹事会議事録（案）
- 幹7-2-1 令和5・6年度複合構造委員会幹事会業務分担
- 幹7-2-2 令和5・6年度複合構造委員会委員構成
- 幹7-2-3 令和5・6年度複合構造委員会小委員会構成
- 幹7-3 令和6年度複合構造委員会スケジュール
- 幹7-4-1 令和5年度委員会決算
- 幹7-4-2 令和6年度委員会予算(案)
- 幹7-5-1 2023年度委員会活動度個別調査書
- 幹7-5-2 2023年度活動度評価結果報告
- 幹7-6 委員会審議結果報告（第1種小委員会H109の委員追加について）
- 幹7-7-1 新規小委員会の募集について
- 幹7-7-2 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会（H223）設立趣意書
- 幹7-8 令和6年度全国大会・研究討論会
- 幹7-9 令和6年度全国大会・共通セッション
- 幹7-10 第10回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム
- 幹7-11 土木学会論文集特集号（複合構造）
- 幹7-12-1 継続教育小委員会全体会議 議事録
- 幹7-12-2 継続教育小委員会資料
- 幹7-13 300年暴露PJ報告
- 幹7-14 出版関連報告
- 幹7-15 ホームページ関連報告
- 幹7-16 複合構造委員会小委員会一覧
- 幹7-17 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹7-18 H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会
- 幹7-19 H110 Society5.0に向けた社会インフラの管理システム構築のための調査研究小委員会
- 幹7-20 H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会
- 幹7-21 H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会

- 幹7-22 H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会
- 幹7-23-1 複合構造委員会第3回委員会議事次第
- 幹7-23-2 親委員会での報告・発表に関する意見募集
- 幹7-24 複合構造委員会20周年記念行事の準備について
- 幹7-25 カーボンニュートラル（CN）に関する土木学会構造系研究委員会のPD企画会について
- 幹7-26 IABSEジャーナル（Structural Engineering International）への投稿について
- 幹7-27 橋梁調査会 令和6年度「橋梁技術に関する研究開発助成」の募集について
- 幹7-28 土木学会「建議のルール」改正について

#### 議事内容：

##### 1. 委員長挨拶

牧委員長より、開会の挨拶がなされ、中島顧問が功績賞を受賞されたことの紹介があった。

##### 2. 複合構造委員会第6回幹事会議事録(案)（幹7-1）

齋藤幹事より説明があり、修正無く承認された。

##### 3. 令和5・6年度複合構造委員会幹事会業務分担（幹7-2）

皆田幹事長より資料について説明があった。

- ▶ 櫻庭幹事の留学に伴い、出版委員会は前委員である平幹事に引き継いでもらうこととした。土論委員会については、基本メールのやり取りなので引き続き櫻庭幹事が対応し、必要に応じて皆田幹事長がフォローする。
- ▶ 企画WGの主査についてはこれまで塩畑幹事が担当していたが、他の担当の業務量を鑑み、藤林幹事に主査を引き継いでいただくこととした。
- ▶ 年度初めであり、改めて委員名簿、小委員会・WG構成の一覧を修正したので確認のこと。

##### 4. 令和6年度複合構造委員会スケジュール確認（幹7-3）

皆田幹事長より説明があり、親委員会・幹事会の年間スケジュールのほか、各活動のスケジュールを確認した。

- ▶ 20周年記念行事計画については、2024年度末で委員会創設から満20年となることから、2025年度に記念式典をする方向で2024年度中に準備委員会を立ち上げることにする。
- ▶ 各小委員会の講習会については、今年度は実施する予定はない。

##### 5. 令和5年度委員会決算と令和6年度委員会予算(案)（幹7-4-1、7-4-2）

皆田幹事長より説明があった。

- ▶ 決算については、最終697,600円、残額96,400円であった。
- ▶ 予算については、約70万円となる見込みである。配分案は2023年度と同等とした。

##### 6. 令和5年度委員会活動度評価結果（幹7-5-1, 2）

皆田幹事長より説明があった。

- ▶昨年度は出版物の販売実績が少なかった。今年度は、他委員会と共催となるが、カーボンニュートラルのパネルディスカッションを開催予定である。
- ▶2023年度の活動度評価はBランクであり、土木学会からの予算配分（調査研究拡充支援金を除く）は、61万6千円で決定との連絡があった。
- ▶過去、示方書を出版した年にAランクになったことがある。
- ▶講習会での利益が多いと、翌年の拡充支援金が増額される。

#### 7. 委員会審議結果報告（第1種小委員会H109の委員追加について）（幹7-6）

皆田幹事長より、H109に中村幹事の追加が承認されたとの報告があった。

#### 8. 新規小委員会の募集・設置について（幹7-7-1,2）

今川委員から新規小委員会（2種小委員会）「(仮) 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会」の設立趣意書について説明があった。

- ▶タイトルにある通り、設計の部分を対象にするのか。  
⇒その通りであり、設計に関して重点的に実施したい。
- ▶スタッドの設計法について、スタッドの使われ方（新設、取替）で異なるようなところもあるので、そういった観点での整理もして欲しい。

#### 9. 令和6年度全国大会・研究討論会（幹7-8）

塩畑幹事より、研究討論会企画について説明があった。

- ▶実施日は9/2（月）10時からであり、録画形式の予定で、オンラインでの実施とした。
- ▶話題提供者は今後相談して決めていく予定である。
- ▶本日の資料は古いものであり、資料内の委員会名は小委員会名でなく親委員会名（複合構造委員会）に、また、討論会のタイトルは小委員会時に決定した「Society5.0における社会インフラの管理システム構築に向けて」とする。
- ▶パネラーの方々の旅費、謝金を考えておく必要があるので予備費を充当する。
- ▶動画編集の費用も必要な可能性があり、前回準備した大久保幹事に確認しておく。
- ▶研究討論会に向けた打合せを別途実施する。

#### 10. 令和6年度全国大会・共通セッション（幹7-9）

大久保幹事より、プログラム編成結果の説明があった。

- ▶今年は、55編、8セッションで9/5（木）9時からである。また、座長は内諾済みである。

#### 11. 第10回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム（幹7-10）

仁平幹事より説明があった。

- ▶概要締切を5/29まで延長している。
- ▶今回、CD配布を廃止し、参加費を安く設定した。

▶WEBサイトを活用して、プログラムや論文を周知、ダウンロードできるようにする。

## 12. 土木学会論文集特集号（複合構造）（幹7-11）

皆田幹事長より説明があった。

▶推薦数の増加もあり、投稿数、採択数が増加している。

▶編集作業の効率化のため、原稿に行番号を追加する取り組みを今年度予定しており、シンポジウム小委員会にも相談する予定である。

## 13. 複合構造の継続教育（幹7-12-1, 2）

中村幹事より、年に1回実施している全体会議の結果の説明があった。

▶セミナーについて、今年度は講義形式とし、11/26(火)PMにハイブリッド形式で開催である。

▶参加費は前回講義形式の半額とし、テキストは申込者全員に事前配布して会場参加者には会場でも配布とする予定である。

▶時間配分は前回の講義形式から変更し、設計に関する講義を短くしてFEMに関する講義を長くする予定である。また、FEMの講師は前回から変更して高橋(良)委員にお願いした。

▶開催PRとして「橋梁と基礎」への開催報告を検討している。

▶eラーニングについて、対象は若手技術者や学生とし、コンテンツの基本は書籍「基礎からわかる複合構造－理論と設計－」とする。

▶eラーニングは委員会のポイントになるのか。

⇒行事として申し込むことで講習会と同様にポイントになる。

▶無料なので企業の研修などにも利用可能と考える。

▶計算事例やFEM解析事例の収集・実施があると良いと考えている。

⇒事例の収集については小委員会を立ち上げてもいいのではないか。目的が明確なので、150番台の小委員会で実施するのが良いのではないか。

⇒小委員会の立ち上げについては検討を継続する。

## 14. 300年暴露PJ報告（幹7-13）

皆田幹事長と中村幹事より、FRP試験体を製作中であるとの説明があった。

▶今年は、定期観察（2年）のタイミングである。載荷試験は8年後に実施する予定である。

▶観察記録はどのように残していくか。

⇒完全に決まっていない。今は大工大で保管している。

▶今後、試験体の観察会を計画する。

## 15. 出版関係報告（幹7-14）

平幹事より説明があった。

▶複合レポート17について、出版委員会から残り4冊だが増刷するかとの問い合わせがあったが、H219小委員会としては売り上げが見込めないなので、増刷しないとこととした。

## 16. ホームページ関連報告（幹7-15）

山本幹事より、修正点について説明があった。

- ・出版物のリンクを最新の状況にした。
- ・小委員会名、設立目的の間違いを修正
- ・全国大会研究討論会資料を追加
- ・複合構造セミナーの資料を追加
- ・問い合わせ先を山本幹事に修正

## 17. 小委員会報告審議事項

小委員会一覧について皆田幹事長から説明があった。

### (1) H101 複合構造標準示方書小委員会（幹 7-17）

仁平幹事より 2024 年内の発刊を目指し活動中との報告があった。

### (2) H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会（幹 7-18）

仁平幹事より、6月26日に第二東名の現場見学を行う予定との報告があった。

### (3) H110 Society5.0に向けた社会インフラの管理システム構築のための調査研究（幹 7-19）

塩畑幹事より下記の報告があった。

- ▶概要版と研究討論会の企画案を学会に提出した。また、牧委員長が土木学会で活動報告を行った。
- ▶研究討論会の内容は現在検討中である。
- ▶小委員会の予算としては、40万円ほど余った。
- ▶報告書については、今後、執筆者で確認した後、H110 小委員会委員に送付し、確認いただく予定である。

### (4) H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会（幹 7-20）

中村幹事より、報告書のとりまとめ中であり、また、IABSE Journal に投稿準備中であるとの報告があった。

### (5) H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会（幹7-21）

橋本幹事より、次回委員会の日程調整中との報告があった。

### (6) H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会（幹 7-22）

内藤幹事より、現場見学会を企画中であるとの報告があった。

## 18. 複合構造委員会第3回委員会議事次第（幹7-23-1, 2）

- ・皆田幹事長より説明があった。
  - ▶H110 の終了報告を実施する。

## 19. 複合構造委員会20周年記念行事の準備について（幹7-24）

皆田幹事長より説明があった。

- ▶2025年度第2回親委員会（12月頃）と同日開催で考えている。
- ▶10周年記念式典は行事として実施した。
- ▶実施方式として、オンラインは無しで対面での実施が良いのではないか。

## 20. その他（幹7-25～幹7-28）

### ・ 構造系研究委員会のカーボンニュートラルに関するPDについて

牧委員長と中村幹事より、3月の終わりにキックオフ会議を実施し、各委員会の情報共有、PDの目的や方針について議論したとの報告があった。

### ・ IABSE Journal への投稿について

皆田幹事長より、主にH107のコンセプトをベースとしてH220の議論を追加したものを取りまとめ、これをIABSE Journalに5月末に投稿予定との報告があった。

### ・ 表彰制度の創設等について

以下の意見があった。

- ▶過去、学会誌への追悼記事掲載は会長歴任者のみであった。
- ▶複合構造委員会のページに掲載してはどうか。
- ▶これまで、現役委員で亡くなられた方（栗田先生、葛西先生、渡辺さん）の追悼記事については、複合構造委員会20周年記念行事で配布される記念誌に掲載する。

### ・ 4th-JSCE-CCESジョイントシンポジウム（南京）について（延期）

牧委員長より、10/9～11の3日間で実施。今回は、水工学、海岸工学が主体なので、そちらで話を進めることとなっているとの報告があった。

### ・ 橋梁調査会 令和6年度「橋梁技術に関する研究開発助成」の募集について

特になし

### ・ 土木学会「建議のルール」改正について

特になし

## 16. 閉会挨拶

- ・ 大山副委員長より、閉会の挨拶がなされた。

以上  
(記録：平)